

※ 総会へご出席の方は本議案書を必ずご持参下さい。

2023年度 定時総会議案書



- ◇ 日 時 2023年5月26日（金）
 受付 13時00分
 開始 13時30分
- ◇ 会 場 長野県下伊那郡阿智村智里503-2
 南信州昼神温泉郷 懐石と炬燵の宿 吉弥
 電話 0265-43-2000

一般社団法人

長野県損害保険代理業協会

2023年度 定時総会次第

日 時 2023年5月26日（金） 13時30分～15時30分

場 所 懐石と炉ばたの宿 吉弥 司 会 片桐副会長

1、開会宣言 山口副会長

1、会長挨拶 福嶋 利行会長

1、議長選出

1、議長就任の挨拶

1、総会成立審査報告

1、議事作成人の選出

1、議事録署名人の選出

付議事項

第1号議案 2022年度事業報告承認の件

第2号議案 2022年度収支決算および監査報告承認の件

第3号議案 2023年度事業計画案承認の件

第4号議案 2023年度収支予算案承認の件

第5号議案 本総会の決議の主旨に反しない限りその修正を会長に一任
する件

第6号議案 その他

1、議長退任の挨拶

1、閉会宣言 桐島副会長

第1号議案 2022年度事業報告承認の件

会 長 福嶋 利行

～三冠達成（日本代協目標）～

【仲間づくり推進、ぼうさい探検隊、コンサルティングコース受講目標にて】

新型コロナウイルスの国内感染拡大から3年が経過し、ウイズコロナ社会へと移行する中、保険業界も大きく変わり、会員も日常業務が増えました。代協活動においては、会員同士の「集い語り合い高め合う」という一番のメリットが、WEB 会議等で薄れてしまい、各支部長、委員長との連携が儘ならない一年ではありましたが、理事をはじめとする皆さま方の協力を賜り、2022年度も推進してまいりました。

今年度の日本代協の会議は、コンベンションも含め、リアルと WEB、双方の利点を活かし、開催することができたと思います。

また、長野代協にウェビナーを導入し、各委員会ともセミナーを開催。各保険会社社員、同じブロックである群馬、新潟代協の皆さまにも参加していただくことができ、各支部においても工夫をしながらセミナーに取り組んでいただきました。

改めて、長野代協の運営に携わっている会員の皆さま、並びに損保協会、損害保険会社各社、その他関係者の皆さまにご指導、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、今年度も日本代協の3冠を目指し取り組んでまいりましたが、見事に達成することができました。お力添えいただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。目標に掲げました取り組みの詳細に関しましては、以下のとおりご報告申し上げます。

【仲間づくり】：目標8店に対し8店。代理店の合併など多数ありましたが、205店の維持ができ、組織率50%です。

【募集人の資質向上】：トータルプランナーへの取り組みは、目標16人に対し22名となりました。日本代協アカデミーは、昨年より大きく減ってしまい、魅力を会員に伝えきれていないと感じました。

【CSR 活動】：ぼうさい探検隊は、目標3に対し5を達成することができ、伊那支部から提出いただいた宮田探検隊がキッズリスクアドバイザー賞（日本損害保険代理業協会賞）を受賞しました。

その他、企画環境委員会では、会員の事業継続強化計画、BCP 策定、社労士診断において、未だ周知不足であり、その先の顧客までお伝えすることができていません。提携事業の見直し、代協活動の PR も特に進展がなく、シニア会も未活動でした。

改善すべき点は多々ありますが、今後とも皆さまとともに長野代協の使命を全うし、顧客に寄り添ってまいりたいと思います。本年も一年間、誠にありがとうございました。

「日本代協」

総 会	6 月 14 日	リアル会議
全国会長懇談会		
全国ブロック長懇談会	9 月 9 日	リアル会議
新潟代協創立 60 周年記念 式典	10 月 26 日	参加
日本代協コンベンション	11 月 18 日	式典・講演 ホテルグランドニッコー東京台場
	11 月 19 日	分科会
全国会長懇談会	12 月 9 日	各代協会長はWEB参加
臨時総会	3 月 10 日	リアル会議
全国会長懇談会		
上信越ブロック協議会	6 月 28 日	第 1 回 千曲市市民交流センター 小田島会長、金澤専務理事、松本企画環境委 員長の講義
	9 月 28 日	第 2 回 千曲市市民交流センター
	12 月 19 日	第 3 回 WEB会議 (ZOOM)
	3 月 24 日	第 4 回 千曲市観光会館 藤山組織委員長の講義
人材育成研修会	7 月 15 日	ホテル木暮 (伊香保温泉)
	7 月 16 日	第 1 講義：社団法人の社会的役割について 日本代協副会長 山中 尚氏 第 2 講義：日本代協の現状と課題 日本代協副会長 小俣藤夫氏 第 3 講義：保険会社から見たこれからの代理 店のあり方 東京海上日動火災(株) 群馬支店長 三原二郎氏
ブロック公開セミナー	10 月 4 日	群馬代協担当 テーマ：大規模災害に学ぶこれからの地域防 災 コロナ禍における避難の対応 講 師：群馬大学名誉教授/東京大学特認教授 (防災社会工学専門) 片田 敏孝教授

「長野代協」

定 時 総 会	5 月 27 日	「ロイヤルホテル長野」 長野市 正会員出席者 25 名 欠席者委任状 153 名 計 178 名 次の各議案についていずれも原案どおり承認された。 第 1 号議案 2021 年度事業報告承認の件 第 2 号議案 2021 年度収支決算および監査報告承認の件 第 3 号議案 役員任期満了に伴う改選の件 第 4 号議案 2022 年度事業計画案承認の件 第 5 号議案 2022 年度収支予算案承認の件 第 6 号議案 本総会決議の趣旨に反しない限りその修正を会長に一任する件 記念講演 演題：「スポーツとリスク管理」 講師：古川 年正 氏
幹事会・理事会		下記の通り開催し業務運営に関する重要事項について審議した。
第 1 回幹事会	7 月 7 日	事務局にてリアル開催
第 2 回幹事会	10 月 7 日	事務局にてリアル開催
第 3 回幹事会	1 月 13 日	事務局にてリアル開催
第 4 回幹事会	4 月 5 日	事務局にてリアル開催
第 1 回理事会	5 月 28 日	総会時に開催
第 2 回理事会	7 月 27 日	日本代協コンベンション参加者推薦
第 3 回理事会	10 月 27 日	ウイルス感染対策他
第 4 回理事会	1 月 25 日	県総会開催計画について セミナー開催計画他
第 5 回理事会	4 月 19 日	県定時総会計画 2023 年度事業計画/予算承認の件他
セミナー開催	9 月 9 日	中信/諏訪支部合同セミナー（WEB）
	11 月 11 日	東北信合同セミナー（WEB）
	11 月 16 日	生保販売セミナー（WEB）
	1 月 24 日	伊那/飯田支部合同セミナー（リアル）
	2 月 2 日	組織教育委員会合同セミナー（WEB）
	2 月 15 日	サイバーセキュリティ対策セミナー（WEB）

2022年度仲間づくり

長野代協は2021年度末205店に対して2022年度末205店であった。

「代申保険会社別」増減は下記の通り。

増加) 1店増: 東京海上日動、三井住友、共栄火災、日新火災

減少) 4店減: あいおいニッセイ同和

	県代協	北信支部	東信支部	中信支部	諏訪支部	伊那支部	飯田支部
2021年度	205	61	36	40	35	17	16
入会員	8	4	0	2	0	1	1
退会員	8	3	0	3	2	0	0
2022年度	205	62	36	39	33	18	17
増 減	0	1	0	-1	-2	1	1

会員数の推移							
	県代協	北信支部	東信支部	中信支部	諏訪支部	伊那支部	飯田支部
2016年度末	236	69	39	44	43	21	20
増減	1	3	0	-2	1	0	-1
2017年度末	234	68	41	44	43	18	20
増減	-2	-1	2	0	0	-3	0
2018年度末	221	66	40	39	40	18	18
増減	-13	-2	-1	-5	-3	0	-2
2019年度末	215	65	38	38	38	18	18
増減	-6	-1	-2	-1	-2	0	0
2020年度末	215	67	37	40	37	17	17
増減	0	2	-1	2	-1	-1	-1
2021年度末	205	61	36	40	35	17	16
増減	-10	-6	-1	0	-2	0	-1
2022年度末	205	62	36	39	33	18	17
増減	0	1	0	-1	-2	1	1

2022 年度提携事業収入状況

提 携 事 業	事 業 収 入	前 年 比
自動車修理事業	383,506	123%
レンタカー事業	1,146,227	97%
宅配便・溶解事業	101,981	112%
ガソリン事業	3,136	
事故車買取事業	80,000	114%
自動車リース事業	11,000	25%
国民年金基金取次事業	0	
合 計	1,725,850	99%

「2022年度 支部事業報告」

北信支部長 上林 義信

本年度は、支部の基本活動として、仲間づくり推進活動、損害保険大学課程受講者募集、日本代協アカデミー募集登録、社会奉仕活動、東北信合同セミナーを開催した。支部役員会は計7回開催をした。長く続くコロナ渦の状況も緩和されつつあり、少しずつ以前のよう
に会員の皆様にお集まりいただきセミナー等を開催することができた。全ての支部活動は継続性が大切であり、特に社会奉仕活動はその最たるものである。来年度も継続性のある事業展開を図り、又会員同士の情報交換の場合をつくり、充実した支部活動にしたいと考える。

月 日	事 業 活 動
5月23日	第1回支部役員会
5月27日	長野代協総会、第1回県理事会
6月24日	第2回支部役員会
7月27日	第2回県理事会
7月29日	第3回支部役員会・献血活動（長野献血ルーム）
8月29日	長野市環境部主催 啓発活動参加
9月 8日	第4回支部役員会
10月 5日	第5回支部役員会
10月27日	第3回県理事会
11月11日	東北信合同セミナー 開催
1月11日	第6回支部役員会
2月10日	第7回支部役員会
3月14日	北信支部定時総会 開催

東信支部長 志摩 拓海

本年度は、仲間づくり推進活動、社会貢献活動、損害保険大学課程受講者募集、日本代協アカデミー登録募集を支部活動として行った。

社会貢献活動は、社会の方に直接代協という組織を知っていただける機会だと思うので更に来年度は力を入れていたい。

なお、来年度は東北信合同セミナーが東信支部で行われるので支部全体で成功できるように取り組んでいきたいと思う。

月 日	事 業 活 動
5月27日	長野代協定時総会 第1回理事会
7月27日	第2回県理事会
8月 9日	第1回支部役員会
9月 4日	ぼうさい探検隊実施
10月14日	東信ジャーナル掲載
10月27日	第3回県理事会
11月11日	東北信合同セミナー
1月25日	第4回県理事会
2月10日	第2回支部役員会
2月15日	献血活動
3月17日	東信支部定時総会 清掃活動

中信支部長 高木 守

本年度も、代協活動を魅力あるものとして会員のみなさまが活動に参加していただけることを目指しながら行ってきた。

本年度の主な活動としては、中信・諏訪支部合同でサイバーリスク対策オンラインセミナーを10月21日に開催した。本セミナーでは、多様化するサイバーリスクに効率的に対応するために、実際に起きた中小企業のサイバー被害を而知りながら、自社のセキュリティ状況の実態を効率的に把握する手法と効果的なセキュリティ対策について、サイバートラスト株式会社松本義和講師を迎え、開催した。代協会員のみならず、代理店の契約者や、一般法人の方にもセミナー参加いただけることを目指し、松本商工会議所広報誌に折込チラシ約4,100枚を入れ、幅広く一般の方々にもセミナー開催について知っていた

だく告知方法を工夫しながら開催した。

近年リスクが高まっているサイバーリスクに対し、自分達のすぐ側でどこの企業にでも起こりうるリスクということを知っていただくきっかけになったかと思う。

仲間づくりに関しては、今年度新規入会代理店さんは1店（3月29日現在）、現在案内している代理店に引続き声掛けしながら、他の代理店にも代協会員である事が保険代理店のミニマムスタンダードということを各方面で伝えていく事が重要かと思う。

今後も保険代理店業界がより良く発展していくためにも、多くの代理店の方に仲間になっていただく事が重要と考え、様々な代協活動の情報発信、会員向けに提供されている代協アカデミー等の制度をより多くの方に知っていただく機会を設けていき、会員同士からの紹介や、保険会社の方にも代協活動の中身をより知っていただく事に力を入れながら仲間づくりに取り組んでいく事が大切だと思う。

ぼうさい探検隊は本年度も実施することが出来た。コロナ禍で参加いただいた皆さまには感謝申し上げます。参加いただいた方の声として、自宅周辺にあるAED設置場所を家族みんなで改めて確認し、24時間いつでも使用出来る状況なのか、施設が開館している時しか利用出来ないかを知ることが出来、いざという時に少しでも慌てずに行動出来ればと話していた。参加いただいた方々に少しでも役に立てられる活動にしていく事が今後も重要かと思う。

今年度、中信支部では自賠責無保険車追放キャンペーンの担当支部として、2022年12月に信州大学と松本大学の学生に向けてチラシ入りのティッシュを配布する活動を実施しました。コロナ禍の為、直接学生に渡せるような形での活動が出来なかった事が残念だった。

社会貢献活動として中信支部は、2023年2月1日から2023年3月31日まで献血活動を行ってきた。コロナ禍の影響もあるが、献血活動に参加される方が固定化されているため、より多くの方々に参加いただける仕組が必要かと思う。

最後に、本年度も事業参加される方が役員のための事が多く、会員の方たちの参加が少なかった。コロナ禍の中で活動のために集まる事が難しい部分はあったが、代協活動を魅力あるものとし、参加者を増やす事が、代協活動の活性化、会員の仲間づくりに繋がると考え、来年度も引き続き、会員の方々が参加したいと思う活動を目指し、魅力ある中信支部になるよう来年度も活動を行ってまいりたいと思う。

月 日	事 業 活 動
4月26日	第1回支部役員会
5月26日	第2回支部役員会
5月27日	県代協定時総会
6月8日	第3回支部役員会
7月6日	第4回支部役員会

7月29日	第5回支部役員会
9月7日	第6回支部役員会
9月11日	ぼうさい探検隊 安曇野市堀金
9月27日	第7回支部役員会
10月12日	第8回支部役員会
10月21日	中信諏訪支部合同セミナー
12月19日	無保険車追放キャンペーン 信州大学
12月26日	無保険車追放キャンペーン 松本大学
2月1日 ～3月31日	中信支部献血活動
2月8日	第9回支部役員会
3月20日	中信支部定期総会 松本市Mウィング

諏訪支部長 朝倉 敏文

2022年度の諏訪支部の代協活動は、新型コロナウイルスの感染対応により様々な制約の中、会員各位の協力をいただき、以下CSR（社会貢献）活動を中心に行ってきた。

・献血活動について

献血センター諏訪出張所が閉所となったことから初めての試みとして、敷地内で献血バスを使用しての活動になった。7月と11月に合計2日間開催し、会員・従業員の方々、保険会社社員の方々に協力をいただき、40名の皆様に献血をいただいた。

また、2023年度から献血センター諏訪出張所の敷地も使用できなくなることから、活動拠点を検討する必要がある。今後も長野県赤十字血液センターと連携して、献血活動推進の一翼を担って参りたいと考える。

・ぼうさい探検隊について

『通学路安全守り隊』の方が参加くださり、専用タブレットにて通学路周辺を調査して、ぼうさいマップを作成し応募した。

・「全国交通安全運動」の街頭啓発活動について

新型コロナの影響を受け、参加することができなかった。

10月には中信支部との合同で「情報セキュリティからはじめるサイバーリスク対策」の表題でオンラインセミナーを開催し多くの方にご参加いただいた。多様化するサイバーリスクに効率的に対応するために、セキュリティ状況の実態を把握する手法、効果的なセキュリティ対策について学ぶことができた。

11月には例年通り、長野日報・市民新聞の2社に全面広告を掲載し、会員の契約者の皆様、地域の消費者の皆様方に我々、損害保険代理店、また代協活動の周知を図った。

仲間づくりの推進活動（会員拡大）・代理店賠償加入促進・コンサルティングコース受講推進については、組織委員長・教育委員長と連携して、各保険会社の支社長・担当者をその都度、数回にわたり訪問して、各セミナーの開催告知、会員拡大の協力、コンサルティングコース受講推進への協力依頼を行ってきた。

結果的には、今年度も新入会の獲得はできなかったが、コンサルティングコース受講推進では一定の効果があつた。

今後とも保険会社との連携は必要と考える。

今年度は、新型コロナの厳しい状況が緩和されつつあり、役員全員が集まった定例役員会を開催することができた。来年度以降はコロナ禍以前の事業活動が実施されることを期待したい。今後も会員各位に代協活動を理解いただき、積極的な活動参加を心よりお願い申し上げる。

月 日	事 業 活 動
4月21日	第1回諏訪支部役員会（WEB）
5月24日	2021年度諏訪支部定期総会
5月27日	長野代協定時総会
6月14日	第2回諏訪支部役員会（損保ジャパン諏訪支社会議室）
7月14日	夏季献血活動（赤十字献血センター諏訪出張所）
7月27日	長野代協第2回理事会（梓水苑）
8月 8日	第3回諏訪支部役員会（損保ジャパン諏訪支社会議室）
10月21日	中信支部合同公開セミナー（WEB）
10月27日	長野代協第3回理事会（WEB）
10月29日	ぼうさい探検隊（通学路安全守り隊支部長家族）
11月18日	第11回日本代協コンベンション（式典）
11月19日	第11回日本代協コンベンション（分科会）
11月20日	新聞広告掲載（長野日報・市民新聞）
11月24日	秋季献血活動（赤十字献血センター諏訪出張所）
12月15日	第4回諏訪支部役員会（損保ジャパン諏訪支社会議室）

1月 3日	年賀新聞広告掲載（長野日報）
1月25日	長野代協第4回理事会（WEB）
2月14日	第5回諏訪支部役員会（損保ジャパン諏訪支社会議室）
3月16日	2022年度諏訪支部定期総会

その他

- ・長野代協幹事会メンバーは幹事会参加
- ・長野代協理事会メンバーは上記理事会参加
- ・各委員会活動に支部委員長が参加
- ・支部長・仲間づくり推進委員長・教育委員長は保険会社訪問

伊那支部長 大久保 照子

引き続きコロナにより、活動を制限された1年間であった。

例年参加してきた伊那養護学校「どんぐり祭り」ボランティアができず残念であったが、3年連続となる献血活動を行うことができ、社会貢献活動は継続することに意義があると感じた。また、飯田支部主催の合同セミナーは久しぶりに対面でのセミナーとなり徐々に以前のような活動ができるようになった。ぼうさい探検隊の「宮田探検隊」がキッズリスクアドバイザー賞（日本損害保険代理業協会賞）受賞した。また、伊那支部として久しぶりに会員を増やすことができた。

月 日	事業活動
5月27日	県代協総会・第1回理事会
7月27日	第2回理事会・一斉委員会
9月21日	新聞広告掲載
10月17日	第1回支部役員会
10月27日	第3回理事会
1月25日	第4回理事会
1月24日	伊那飯田合同セミナー
2月11日	献血活動
2月28日	第2回支部役員会
3月17日	支部総会

飯田支部長 角野 貴弘

引き続きコロナ禍にてリアルな行事が少ない中ではあったが、伊那支部との合同セミナーを無事開催でき、良かったと思う。

月 日	事 業 活 動
5月27日	県代協総会・第1回理事会
7月20日	桜並木通り清掃活動（会員・保険会社社員参加）
7月27日	第2回理事会・一斉委員会
10月27日	第3回理事会
12月2日	支部役員会
1月24日	伊那・飯田支部合同セミナー（講師：保険ジャーナリスト 中崎氏）
3月16日	飯田支部総会

「2022年度 委員会活動報告」

組織委員長 山口 哲也

1. 仲間づくり推進活動

2. 代理店賠償責任保険の加入促進

- ・今年度の仲間づくり（新規入会員数）目標8会員（北信：2、東信：1、中信：2、諏訪：1、伊那：1、飯田：1）に対し、実績は8会員（北信：4、東信：0、中信：2、諏訪：0、伊那：1、飯田：1）で目標達成。
- ・今年度の活動が無駄にすることなく来年度にもしっかりと引き継がれるよう、各支部との連携強化が必要。
- ・「代理店賠償セミナー」（後援：長野損保会）をウェビナー開催。会員・非会員・保険会社社員を問わずオープンに参加者を募り、115名の申込。
- ・教育委員会と合同でセミナー「鬼の成島検査官が語る！金融庁検査の着眼点」（後援：長野損保会）をウェビナー開催。会員・非会員・保険会社社員を問わずオープンに参加者を募り、197名の申込。
- ・今後の代理店賠償責任保険加入促進、仲間づくり推進に活かしていきたい。

月 日	事 業 活 動
7月11日	各保険会社支店長訪問（会長・副会長2名） 損保ジャパン、あいおい、共栄火災、日新火災
7月26日	各保険会社支店長訪問（会長・副会長2名） 三井住友海上、AIG損保、東京海上日動
7月27日	第1回組織委員会 当年度活動方針（スキーム）、目標、見込み代理店を共有
8月19日	代協ファイル（勧誘用資料）作成、各支部配布
9月2日	第2回組織委員会（Zoom ミーティング） 仲間づくり進捗確認、代理店賠償セミナーチラシ配布について
9月26日	代理店賠償セミナー（Zoom ウェビナー）
11月24日	第3回組織委員会（Zoom ミーティング） 仲間づくり進捗確認、第2弾セミナー開催について
12月16日	各保険会社県内拠点訪問（組織委員長）飯田、伊那支部
12月23日	各保険会社県内拠点訪問（組織委員長）諏訪支部

12月29日	各保険会社県内拠点訪問（組織委員長）東信支部
1月13日	各保険会社県内拠点訪問（組織委員長）中信支部
1月16日	各保険会社県内拠点訪問（組織委員長）北信支部
1月18日	第4回組織委員会（Zoom ミーティング） 仲間づくり進捗確認、セミナー開催について共有
2月2日	教育委員会合同セミナー「鬼の成島検査官が語る！金融庁検査の着眼点」 （Zoom ウェビナー）
2月8日	仲間づくり飯田支部1店入会（代申：東京海上日動）
2月20日	第5回組織委員会（Zoom ミーティング） 仲間づくり進捗確認
3月4日	仲間づくり伊那支部1店入会（代申：損保ジャパン）
3月15日	第6回組織委員会（Zoom ミーティング） 仲間づくり進捗確認
3月20日	仲間づくり北信支部1店入会（代申：東京海上日動）
3月25日	仲間づくり北信支部1店入会（代申：東京海上日動）
3月27日	仲間づくり北信支部1店入会（代申：共栄火災）
3月29日	仲間づくり中信支部1店入会（代申：日新火災）
3月31日	仲間づくり中信支部1店入会（代申：三井住友海上） 仲間づくり北信支部1店入会（代申：損保ジャパン）

教育委員長 竹内 郁子

本年度は、コンサルティングコースの受講募集と日本代協アカデミーの情宣を行った。
コンサルティングコースの受講は、目標16名に対して22名の申し込みがあり、スタートは苦戦しましたが最終的には目標を達成することができました。
日本代協アカデミーは、4月にリニューアルするため本年度は半期の募集と、3月に来年度に向けた募集がおこなわれたが、アカデミーのよさを伝えるのが難しく、来年度への課題となった。

月 日	事 業 活 動
5月27日	長野代協総会 第1回県理事会
6月28日	第1回上信越ブロック協議会
7月20日	コンサルティングコース立ち合い

7月27日	第2回県理事会 第1回教育委員会
9月16日	ブロック教育委員会
9月28日	第2回上信越ブロック協議会
10月27日	第3回県理事会
11月16日	コンサルティングコース立ち合い
12月19日	第3回上信越ブロック協議会
1月19日	第2回教育委員会
1月25日	第4回県理事会
1月27日	全国教育委員会
2月 2日	成島セミナー 組織委員会と合同開催
3月24日	第4回上信越ブロック協議会

総務広報委員長 八木 弘雄

総務広報委員会では、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中、各支部以下の事業及び支部役員会（議事録）の様子等をホームページに掲載する。ZOOMにて、第2回全国一斉ミーティングが開催され、各地区の広報委員の取り組み状況など情報を共有する。今年度の反省点はLINEによるアカウントを作成したが運用に関しては次年度への持ち越しとなり、委員会及びシニア会を開催することができなかった。

月 日	事 業 活 動
7月 2日	飯田支部「大宮桜並木通り清掃活動」
7月15日	諏訪支部「夏季献血活動」
9月11日	中信支部「中信・諏訪合同セミナー」
10月28日	東信支部「ぼうさい探検隊」
11月26日	総務広報委員会「生命保険提案ノウハウ塾」
11月17日	北信支部「東北信合同セミナー」
2月 2日	組織・教育委員会「組織・教育委員会合同公開セミナー」
2月15日	CSR委員会「オンラインセミナー」
2月20日	第2回広報委員会全国一斉ミーティング
2月28日	伊那支部「新聞広告掲載」

○公正な募集環境の整備 …… 不公正募集のモニタリングについては、何件か問い合わせはあったが日本代協への報告へ至った案件はなかった。

○業界の共通化・標準化の検討 …… 提言に至るものはなかった。

○代理店の価値向上策の推進 …… ・ B C P策定率
目標30%(62件) 実績18%(37件)
・ 事業継続力強化計画申請率
目標20%(41件) 実績14%(29件)
・ 社労士診断認証制度申請率
目標10%(21件) 実績6%(12件)

月 日	事 業 活 動
6月23日	日本代協企画環境委員会
6月28日	上信越ブロック委員会
7月27日	第1回企画環境委員会
8月 5日	全国一斉 ZOOM ミーティング
8月30日	「業継続力強化計画」セミナー (WEB)
9月29日	日本代協企画環境委員会
10月25日	「リスクマネジメント講座」セミナー (WEB)
12月6日	「社労士診断認証制度」セミナー (WEB)
1月30日	日本代協企画環境委員会
3月24日	上信越ブロック委員会

1. ぼうさい探検隊活動

今年度も目標3団体を上回る5団体に参加して頂くことが出来た。

このうち伊那支部「みやだ探検隊」が日本代協賞を受賞。

意義のある活動なので次年度も積極的な参加を期待したい。

2. 子ども110番の保険代理店

新たに3店追加登録し、累計105店（登録率：約46%→約51%へ改善）となった。前年同様、北信、東信、中信支部はまだ未登録の会員もあるので引き続き登録募集をしたい。

3. 全国統一事業

無保険車追放キャンペーン（中信支部）は12月に信州大学、松本大学に設置配布
地震保険普及キャンペーン（飯田支部）は役員を通じて配布

4. 献血活動・清掃活動・交通安全運動・各種ボランティア活動

献血や清掃活動は概ね行うことができたが、今年も人数を抑えて参加となった。

5. サイバーセキュリティ対策オンラインセミナー

2月にオンラインセミナー開催。長野県警察本部様、サイバートラスト株式会社様、東京海上日動火災保険株式会社様に講演いただき、それぞれ違う立場から興味深い話を聞くことができた。長野の他、新潟、群馬の会員にも参加いただいた。

月 日	事業活動
7月27日	第1回CSR委員会（梓水苑）
8月～10月	各支部にて「ぼうさい探検隊」実施
9月～10月	子ども110番の保険代理店登録推進キャンペーン
10月	地震保険普及キャンペーン（飯田支部）
12月	無保険車追放キャンペーン（中信支部）
2月15日	サイバーセキュリティ対策オンラインセミナー

事業見直し特別委員長 月岡 信

2022年度は委員会メンバーを設けず、事務局との打合せで委員会を行った。

内容の精査については話がスムーズに進んだが、各支部との連絡にタイムラグがあり、中々進まなかった。

来年度に向けて方向性は決まったので、うまく見直しができる様委員会を開催したい。

月 日	事 業 活 動
5月30日	提携業者（株）イチネンと打合せ
6月30日	事務局と打合せ
9月12日	提携業者（株）タイムズカーレンタルと打合せ
10月 5日	事務局と打合せ
11月 7日	提携業者（株）イチネンと打合せ

第2号議案 2022年度収支決算および監査報告承認の件

① 決算報告

常務理事 中澤 純一

○正味財産増減計算書

○貸借対照表

② 監査報告

監 事 鶴田 繁政

正味財産増減計算書
令和4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額	当年度実績額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	7,900,000	7,765,050	134,950
賛助会員受取会費	240,000	250,000	△ 10,000
受取会費計	8,140,000	8,015,050	124,950
雑収益			
受取利息	1,000	140	860
提携事業収入	2,500,000	2,624,968	△ 124,968
雑収益	200,000	207,814	△ 7,814
雑収益計	2,701,000	2,832,922	△ 131,922
経常収益計	10,841,000	10,847,972	△ 6,972
(2) 経常費用			
管理費			
給料手当	2,280,000	2,280,000	0
福利厚生費	100,000	10,000	90,000
法定福利費	3,000	2,824	176
会議費	1,000,000	906,845	93,155
交際費	100,000	11,445	88,555
旅費交通費	1,000,000	702,712	297,288
通信運搬費	250,000	402,849	△ 152,849
消耗品費	200,000	373,352	△ 173,352
印刷製本費	100,000	98,721	1,279
光熱水道費	150,000	124,086	25,914
賃借料	720,000	720,000	0
保険料	100,000	130,420	△ 30,420
寄付金	10,000	0	10,000
支払手数料	900,000	1,264,729	△ 364,729
日本代協負担金支出	2,000,000	2,000,000	0
提携事業支払手数料	750,000	893,558	△ 143,558
総会費	625,000	472,922	152,078
新聞広告費	400,000	201,870	198,130
雑費	300,000	77,732	222,268
管理費計	10,988,000	10,674,065	313,935
経常費用計	10,988,000	10,674,065	313,935
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 147,000	173,907	△ 320,907
当期経常増減額	△ 147,000	173,907	△ 320,907
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 147,000	173,907	△ 320,907
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 218,000	102,907	△ 320,907
一般正味財産期首残高	12,198,424	12,198,424	0
指定正味財産取崩額	0	0	0
一般正味財産期末残高	11,980,424	12,301,331	△ 320,907
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産取崩額	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	11,980,424	12,301,331	△ 320,907

貸借対照表
令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	前年度末残高	当年度末残高	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,212,406	12,326,680	114,274
定期預金	0	0	0
未収還付法人税等	18	21	3
流動資産合計	12,212,424	12,326,701	114,277
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産計	0	0	0
(3) その他固定資産			
敷金	57,000	57,000	0
その他固定資産計	57,000	57,000	0
固定資産合計	57,000	57,000	0
資産合計	12,269,424	12,383,701	114,277
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	71,000	71,000	0
預り金	0	11,370	11,370
流動負債合計	71,000	82,370	11,370
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	71,000	82,370	11,370
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	12,198,424	12,301,331	102,907
正味財産合計	12,198,424	12,301,331	102,907
負債及び正味財産合計	12,269,424	12,383,701	114,277

監査報告書

2023年4月21日

一般社団法人 長野県損害保険代理業協会
代表理事 福嶋 利行 殿

監事

鶴田 繁政 

監事

吉江 孝彰 

私どもは、一般社団法人長野県損害保険代理業協会の2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の会計及び会計以外の業務の監査を行いました。
その結果を次のとおり報告します。

1. 会計に関する監査

会計に関する監査のため、帳簿、証憑書類について監査を行いました。
監査の結果、添付の財務諸表は、いずれも法令及び定款に従い、一般社団法人長野県損害保険代理業協会の財産の状況並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。

2. 会計以外の業務の監査

会計以外の業務の監査のため、理事会に出席する等監査を行いました。
監査の結果、事業計画に基づき業務が運営されているものと認めます。
また、役員の職務執行に関し、法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

第3号議案 2023年度事業計画承認の件

会長 福嶋 利行

スローガン

“組織の力で明るい保険業界を”

コロナ禍も4年目となりDX化も急速に進むウイズコロナ時代において、日本代協・長野代協の情報を各会員にどのようにお伝えするか、どうすればよりご理解いただけるのか、現状を踏まえて検証しながら、代協の魅力を会員にお伝えしてまいります。また、アンケートを活用し、長野代協に対する会員の要望を的確に捉え、時代に即した組織づくりを行います。各委員会、支部においては年間スケジュールを立てるとともに、長野代協70周年に向け、若手・女性が活躍できる体制の構築を目指します。

長野代協の最大の使命は“損害保険の普及と保険契約者の利益保護を図るため代理店の資質を高め、その業務の適切な運営を確保する”ことです。損保協会と連携し、災害に便乗する悪質な業者への対策やサイバー攻撃対策の推進を行い、顧客をお守りしながら、使命を全うしてまいりたいと思います。

そのために以下のとおり、計画を実践します。

【組織力の強化】 支部、委員会活動の活性化。セミナーの開催。

《魅力ある代協》

長野県の地震保険・共済加入促進協議会推進。自転車条例による賠償保険の推進や県警・行政との交流、損保協会・長野損保会との連携によるステータスの向上。

日本代協開催の活力研、金融庁との意見交換会、サポートデスク、代理店経営未来塾。事業継続力強化計画認定・BCP策定・社労士認定制度の支援。

・リスクマネジメント講座の案内。

【会員・募集人の資質向上を目指し、お客様からの差別化を図る】

日本代協アカデミー・トータルプランナーへの取り組み、セミナーの開催。

【CSR活動】

事業継続（BCP）策定、高校生への出前講座。

ぼうさい探検隊の推進、高齢者交通事故防止・防災勉強会開催。

SDGs17への取り組み。

【適正募集の強化】

不正募集調査、販売環境整備、特定修理業者排除に向けて連携する。

【提携事業の見直し】

会員やお客さまへのメリットを検討。

【積極的なPR活動】

ホームページやリーフレット、マスコミを活用し、代協の魅力と存在意義を伝える。シニア会の皆さまにも幅広く活躍していただきます。

「日本代協」

総 会・全国会長懇談会 政連臨時代議員会 会長懇談会	6 月 18 日	臨時総会：3 月 8 日 0R15 日 6 月 18 日、9 月 15 日、12 月 8 日 3 月 8 日 0R15 日
日本代協コンベンション	11 月 17 日 ～18 日	
上信越ブロック協議会 第 1 回 ブロック人材育成研修会 ブロック公開セミナー	6 月 29 日	長野代協担当 年 4 回開催予定 新潟代協担当 新潟代協担当

「長野代協」

1. 定時総会 5 月 2 6 日 懐石と炉ばたの宿 吉弥
第 1 号議案 2022 年度事業報告承認の件
第 2 号議案 2022 年度収支決算および監査報告承認の件
第 3 号議案 2023 年度事業計画案承認
第 4 号議案 2023 年度収支予算案承認の件
第 5 号議案 本総会の決議の主旨に反しない限りその修正を会長に一任する件
第 6 号議案 その他
2. 理事会 四半期毎に開催
3. 幹事会 理事会開催の半月前を目途に開催

「2023年度 支部事業計画」

北信支部長 上林 義信

2023年度の支部活動は、引き続き各委員会活動とリンクさせ、積極的な支部活動を目指します。セミナーの開催、会員同士の情報交換・意見交換の場をつくり、会員の皆様により支部活動を身近に感じて頂き、魅力ある活動となるよう取り組んでまいります。

1. 支部を挙げての仲間づくり活動を継続する。
2. CSR活動への積極的な取り組みを行う。
3. ぼうさい探検隊の普及推進を行う。
4. 代協アカデミー利用促進・損害保険大学課程の募集推進を行う。
5. 地震保険・共済加入促進キャンペーンへの参画をする。
6. 東北信合同セミナーを開催する。
7. メディアへの広告宣伝活動を行う。
8. 会員のご理解、ご協力のもと提携事業の利用促進を図る。
9. 新入会員のオリエンテーションを実施する。

東信支部長 志摩 拓海

地域の方に代協を知っていただけるように、CSR活動に力を入れたいと思っています。そして、支部の会員の多くの方にご参加いただけるように取り組んでいきたいです。

1. 多くの会員の方に代協を理解していただき、また参加していただけるように支部長や各委員長などから声をかける。
2. 支部全体で仲間づくりの活動を行う。
3. 東北信合同セミナーを開催する。
4. CSR活動を積極的に行う。
5. 日本代協アカデミーの利用促進を行う。
6. 損害保険大学課程の募集を行う。
7. 長野代協のHPの閲覧を促す。
8. 提携事業の案内を会員の方に行う。
9. 新入会員のオリエンテーションを実施する。

中信支部長 高木 守

支部活動は委員会活動と連携しながら、会員の皆さまに参加いただける魅力あるセミナー開催や支部行事活動を通じ、会員同士の交流を盛んにし、会員資質向上につながる支部活動を目指します。

1. 総会、役員会、新入会員オリエンテーション、セミナー開催
2. 会員同士や保険会社社員さんとの情報交換、交流出来る行事の開催
3. 仲間づくり推進活動、代理店賠償責任保険の加入推進
4. 日本代協アカデミー、コンサルティングコース受講案内
5. 支部活動を代協ホームページへアップ
6. 代理店価値向上策の推進や公正な市場環境の構築のための取り組み実施
7. ぼうさい探検隊活動の実施、献血活動や交通安全活動の実施
8. 支部内での提携事業者との交流
9. 日本代協・県代協の主催する事業への協力参加

諏訪支部長 朝倉 敏文

委員会と連携して、支部活動を行います。

1. 支部活動の活性化・参加者づくりを行う。
2. 組織拡大のため、仲間づくり活動を行う。
3. コンサルティングコースの募集を推進する。
4. 日本代協アカデミーの利用促進を推進する。
5. CSR活動を推進する。
 - ・ぼうさい探検隊（夏から秋）
 - ・献血活動（7月・11月）
6. 代理店BCPを推進する。
7. 社労士認定代理店を推進する。
8. 広告宣伝活動を行う。（11月）
9. 中信支部との合同セミナーを開催する。

伊那支部長 大久保照子

任期最後の年となりました。

伊那支部には「支部の継続」という難しい問題があります。

会員に代協活動の良さを一つでも、一人でも多く知ってもらい理解していただくこと、
会員相互の交流の機会を作ること、などを含め、よい支部活動を行うことでスムーズな継続につなげていきたいと思います。

1. 会員数を維持し、更に増員をすすめる。保険会社と連携を取り、常に新規会員獲得を心がけ声かけをする。
2. 会員相互の交流を深める。献血活動に加えて清掃活動を企画、実行する。
3. 各委員会の活動をすすめる。
4. 県代協などの主催する事業への参加協力。
5. 支部行事、セミナー、勉強会などへの積極的な参加。

飯田支部長 角野 貴弘

昨年度の行事に加え、以前行っていた救急救命講習を行いたいと考えております。

3冠王に向けては役員と協力し、引き続きの推進を行っていきます。

1. 仲間づくり活動の推進
2. 伊那支部との合同セミナーの開催
3. トータルプランナー受講の推進
4. CSR活動の推進（清掃ボランティア、救急救命講習会、ぼうさい探検隊）

「2023年度委員会 事業計画」

組織委員長 山口 哲也

1. 仲間づくり推進活動
2. 代理店賠償責任保険の加入推進
 - ・2023年度の仲間づくり推進活動について、日本代協による目標設定のガイドラインを参考に、長野代協として新規会員数目標を7店とする。
 - ・目標を達成できるよう、引き続き県内損保各社との良き信頼関係に基づく代理店の加入促進を図る。
 - ・長野代協独自の仲間づくりスキームをさらにブラッシュアップを図り、取り組み方法の共有、取り組み情報等の共有化をさらに進め、組織委員会だけでなく各支部活動の中に浸透できるようにしていく。
 - ・代理店賠償の加入状況を確認しつつ、加入率が上がるように未加入会員への働きかけ方法を考え、実行する。
 - ・仲間づくり推進活動と連動する活動として、代協未加入代理店に対し代理店賠償の案内ができる場を設定する。

教育委員長 竹内 郁子

2023年度は、コンサルティングコースの受講募集と代協会員のメリットである日本代協アカデミーのよさを知ってもらい、利用促進に取り組んでいく。

1. コンサルティングコースの受講募集
2. コンサルティングコースの研修立ち合い
3. 日本代協アカデミーの情宣・登録
4. 組織委員会との合同セミナー開催

総務広報委員長 八木 弘雄

2023年度は、長野代協の新たな情報発信としてLINE等を利用したSNSを稼働させていく。委員会の開催や各委員長と連携しSNSを活用することを目標とする。併せて、長野代協シニア会について活動を検討する。

1. ホームページの活用
各支部・各委員会にホームページを活用とした情報発信に努める。
2. SNSの運用
3. メディアの活用
各支部において地元紙を中心に、広告活動を展開する。
「長野代協の存在」と「代理店は消費者・契約者のリスクコンサルタント」をPRし
『保険を選ぶ前に代理店を選ぶという考え方』を広く社会に浸透させていく。
各支部での各種イベントの開催の際には、地元マスコミへの記事掲載につなげ、消費者
の認知度を高める。
4. 各媒体の活用
 - ① 日本代協 YouTube チャンネル
 - ② 「みなさまの保険情報」誌の活用
5. 各員会への支援
6. 長野代協シニア会活動

企画環境委員長 片桐 幸広

前年度と同じく「代理店価値向上策の推進」と「公正な募集環境の整備」について活動を行っていく。

1. BCP策定、事業継続力強化計画、社労士診断認証制度の推進
2. 共通化・標準化の検討、集約
3. 不公正募集のモニタリング、特定修理業者問題の情報提供
4. リスクマネジメント講座の情宣、JSA-S1003 認証制度（保険代理店の JSA 規格）の
情報提供

CSR委員長 桐島 航平

「ぼうさい探検隊や各種キャンペーンをはじめとする全国統一活動はもちろん、
コロナ禍で縮小傾向にあった各支部活動も活発に行いたい。
また子ども 110 番の家（保険代理店）の推進や長野県地域見守り活動を周知し
地域社会に貢献していきたい。」

1. 全国統一活動
 - ・ぼうさい探検隊募集活動
 - ・子ども110番の保険代理店の推進
 - ・無保険車追放キャンペーン
 - ・地震保険普及キャンペーン
 - ・防災・減災の具体的取り組みの検討推進
 - ・サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進
2. ハザードマップ・定期的な避難訓練・マイタイムラインの情宣・普及
3. 各支部での献血活動・清掃活動・交通安全運動の取り組み
4. 長野県地域見守り活動事業の取り組み
5. 組織委員会への支援
6. 出前講座

事業見直し特別委員長 月岡 信

代協会員の皆様が利用しやすく、メリットを感じる提携事業を提供出来る様な取り組みをしていきたい。

また、通販やディーラーには無いサービスを構築し、長野代協に加入していて良かったと思える提携事業を提供していきたい。

1. 提携事業を見直し、新しい提携事業としてスタートする
2. 新しくなった提携事業をより多くの会員の方々に認識いただき、利用促進を図る
3. 会員のお客様サービスの検討
(飲食店、修理工場、運転代行などのサービス提供)
4. 総務広報委員会と連携し、HPを活用した長野代協の認知度向上を図る

第4号議案 2023年度収支予算案承認の件

2023年度予算案

常務理事 中澤 純一

2023年度収支予算書（案） 33頁参照

2023年度収支予算(案)

科 目	① 2023年度 予算額	② 2022年度 予算額	③ 2023年度 予算 対前年度増 減 ①-②	修正根拠/計算式等
事業活動収支の部				
事業活動収入				
正会員会費収入	7,800,000	7,900,000	-300,000	募集人修正後の2023年度会費見込7,800千円
賛助会員会費収入	240,000	240,000	0	保険会社8社
受取会費計	7,840,000	8,140,000	-300,000	
寄付金収入				
受取利息収入	1,000	1,000	0	2022年度実績と同額
提携事業収入	2,300,000	2,500,000	-200,000	2022年度実績を勘案し20万減額
雑収益	100,000	200,000	-100,000	上信越ブロックより事務局費として10万円
雑収入計	2,401,000	2,701,000	-300,000	
事業活動収入計	10,241,000	10,841,000	-600,000	
事業活動支出				
管理費支出				
給料手当支出	2,280,000	2,280,000	0	
福利厚生費支出	20,000	100,000	-80,000	2022年度実績を勘案し80千円減額
法定福利費(社会保険料等)	3,000	3,000	0	
会議費支出	1,500,000	1,000,000	500,000	会議昼食代、70周年記念イベント会議含む
交際費支出	100,000	100,000	0	
旅費交通費支出	1,000,000	1,000,000	0	
通信運搬費支出	400,000	250,000	150,000	MSチームス導入等、15万増額
消耗品費支出	200,000	200,000	0	突発的な支出が15万あったが、他の実績を勘案し、前年度と同額予算
印刷製本費支出	100,000	100,000	0	2022年度予算と同額
光熱水道費支出	150,000	150,000	0	2022年度予算と同額
賃借料支出	720,000	720,000	0	2022年度予算と同額
保険料支出	100,000	100,000	0	22年度実績は131千円、傷害保険継続なしで3万減
寄付金支出	0	10,000	-10,000	
支払手数料支出	1,000,000	900,000	100,000	実績を勘案し、10万増額
日本代協負担金支出	2,000,000	2,000,000	0	2023/4/1現在会員数200店 新規入会-退会見込み
提携事業支払手数料支出	700,000	750,000	-50,000	収入減額により5万減額
総会費支出	500,000	625,000	-125,000	リアル総会開催を前提とし、懇親会費も含めた予算 WEB配信費用は今年度は計上しないため減額
新聞広告費支出	400,000	400,000	0	2022年度予算と同額
雑支出	150,000	300,000	-150,000	ウイルス対策費用が確定しないため、減価償却費として150千円見込み
管理費支出計	11,323,000	10,988,000	335,000	
その他の支出	71,000	71,000	0	
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0	
事業活動支出計	11,394,000	11,059,000	335,000	
事業活動収支差額	-1,153,000	-218,000	-935,000	
その他収入				
当期収支差額	-1,153,000	-218,000		
前期繰越収支差額	12,301,331	12,198,424		
次期繰越収支差額	11,148,331	11,980,424		

第5号議案 本総会の決議の主旨に反しない限りその修正を会長に一任する件

第6号議案 その他

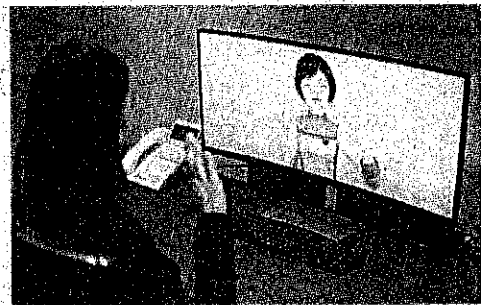
アドバンスクリエイト AVITA(株)と提携

保険相談にアバター活用

アドバンスクリエイトは7月12日、アバター事業を展開する大阪大学発のスタートアップ企業であるAVITA(株)（東京都渋谷区・石黒浩代表取締役CEO）と提携し、アバターを用いた保険に関する新たなサービス開発を目的として、提携を開始したと発表した。アドバンスクリエイトは、顧客とのコミュニケーション方法の一つの選択肢として、アバターの活用を進めていくとしている。

メタバース時代見据え、新サービス開発へ

アドバンスクリエイトは、メタバース時代の到来のあり方が変化していくのを踏まえ、メタバースとリアル世界の垣根を越え、第一階層の取り組みとして、アバターの活用を進めていくとしている。アドバンスクリエイトは、メタバース時代の到来のあり方が変化していくのを踏まえ、メタバースとリアル世界の垣根を越え、第一階層の取り組みとして、アバターの活用を進めていくとしている。



アバターを活用したオンライン保険相談により、顧客の緊張を和らげ、スムーズな相談を実現

AVITAは、20年以上の間に、人と関わるアバターの研究開発を行ってきた大阪大学の石黒浩教授が代表を務めるスタートアップで、アバターの活用したコミュニケーションの取り組みを推進している。

この取り組みは、生身の人間に対して話をするよりも、アバターに対して話す方が心を開いて相談しやすいという人々の心理的ハードルを下げることに効果的である。また、AIによる自動対応と有人対応をシームレスに切り替えることで、業務の自動化・効率化効果も期待されるという。アドバンスクリエイトは、保険業界やアロマーションの新たな可能性を開拓する中で、現時点でマシンのアバター、高齢者、障がい者などが活用しやすい環境を整備するアバタースタッフの育成や、顧客の保険相談がしやすいという人々の心理的ハードルを下げることに効果的である。

AVITAの石黒代表取締役CEOは「アバターの活用は、従来の対面サービスに比べて、高品質なサービスを実現するには、利用者のプライバシーに関する課題に直面している」と指摘している。

「一定数存在する」とが分かっていて、本取り組は「アバターの活用による新たなサービス」の提供を目指す。アバターの活用による新たなサービスは、従来の対面サービスに比べて、高品質なサービスを実現するには、利用者のプライバシーに関する課題に直面している。

アドバンスクリエイトの石黒浩代表取締役社長は「当社は、保険代理店の業務効率化を志向し、保険業界を革新してきた。保険を『売りたい』から『買いたい』に変えていくことが、私たちの使命だ」と述べ、アバターの活用による新たなサービスの実現に向けて取り組んでいることを強調した。

長野県代協 会長 福岡 利行氏

コロナ禍の悔しさをバネに

「2020年はコロナ」といって見えない敵との闘いだったと語る福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

都道府県代協 会長の素顔



福岡氏

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

福岡氏は、長野県代協の役員改選で会長に就任した。全国的に自粛が求められる中、代協活動にも大きな制約がもたらされた。代協活動

（取材：石黒浩）

倫 理 綱 領

損害保険代理業は、損害保険事業の発展を通じ、社会の安全を守り、福祉の向上に貢献する公益性の高い職業である。

一般社団法人日本損害保険代理業協会の正会員に加盟するすべての損害保険代理店並びにその募集人は、社会が損害保険代理業に課する使命、責任、義務に深い自覚を持ち、社会の信頼にこたえ、その繁栄に資するため、常に研鑽につとめる。

よって、ここに倫理綱領を定め、その遵守と実践を宣言する。

1. われわれ損害保険代理業者は、損害保険ならびに代理店制度が社会の安定と福祉の向上を図るため、最善の制度であることを確認し、損害保険の普及につとめるとともに、尊い職責を完全に果たし、消費者の信頼を高めるよう努力する。
2. われわれ損害保険代理業者は、直接消費者に接する者として、常に知性知識の研磨につとめ、資質を向上させ、消費者の需要に的確に対応し、損害保険代理業者としての機能を高度に発揮することを誓う。
3. われわれ損害保険代理業者は、名誉を重んじ、秩序を守り、公正な募集活動を推進し、同業者相互間においては、常に友好的関係を保持し、損害保険代理業の地位の向上につとめる。
4. われわれ損害保険代理業者は、損害保険会社及びその団体と友誼的関係を維持するとともに、英知を結集し、損害保険業の発展に寄与する。
5. われわれ損害保険代理業者は、損害保険業に対する公共の信頼を維持し、業務の適切性及び健全性を確保するために、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けて断固たる対応を行う。

2012年（平成24年）3月9日改定

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

募 集 規 範

■ 目 的

全ての損害保険の募集に従事する者は、消費者の4つの権利（安全を求める権利、知らされる権利、選ぶ権利、意見を述べる権利）を尊重し、以下に定める事項を遵守することによって一般消費者の利益に貢献することを目的とする。

■ 倫理規範

（１） 社会性・公共性の自覚

損害保険事業は社会・公共の利益に貢献する使命を持つことを自覚しなければならない。

（２） 自己研鑽

常に自己研鑽に励み、顧客サービスの質を高めるように努力しなければならない。

（３） 信義・誠実性

一般消費者に対し、常に公平公正で、信義を守り誠実でなければならない。

（４） 信用の維持

常に自らの信用維持に努めなければならない。

反社会的勢力との関係遮断

反社会的勢力とは、取引関係を含めて一切の関係を持たないようにしなければならない。

■ 行動規範

（１） 商品説明

商品内容を説明する場合は、重要事項説明書等により、一般消費者が商品内容を理解し、自主的な商品選択ができるよう、契約条項のうち重要な事項は必ず説明する。

（２） 最適アドバイス

一般消費者のニーズに対し、適切な商品をアドバイスする。

（３） アフターサービス・アフターフォロー

契約後、適切なアフターサービス・アフターフォローを提供する。

（４） 顧客情報の守秘

損害保険の募集に関し、秘密とすべき顧客情報は守秘する。

（５） 法令の遵守

保険業法およびその他の法令を遵守する。



一般社団法人 日本損害保険代理業協会

懐石と炉ばたの宿 吉弥

住 所 〒395-0304
長野県下伊那郡阿智村智里503-2

TEL/FAX TEL 0265-43-2000 / FAX 0265-43-4333

車でのアクセス 飯田山本ICより国道153号線約10分

